

2 - 6 江刺地球潮汐観測施設における地殻変動の連続観測

Observations of Crustal Movements at the Esashi Earth Tides Station

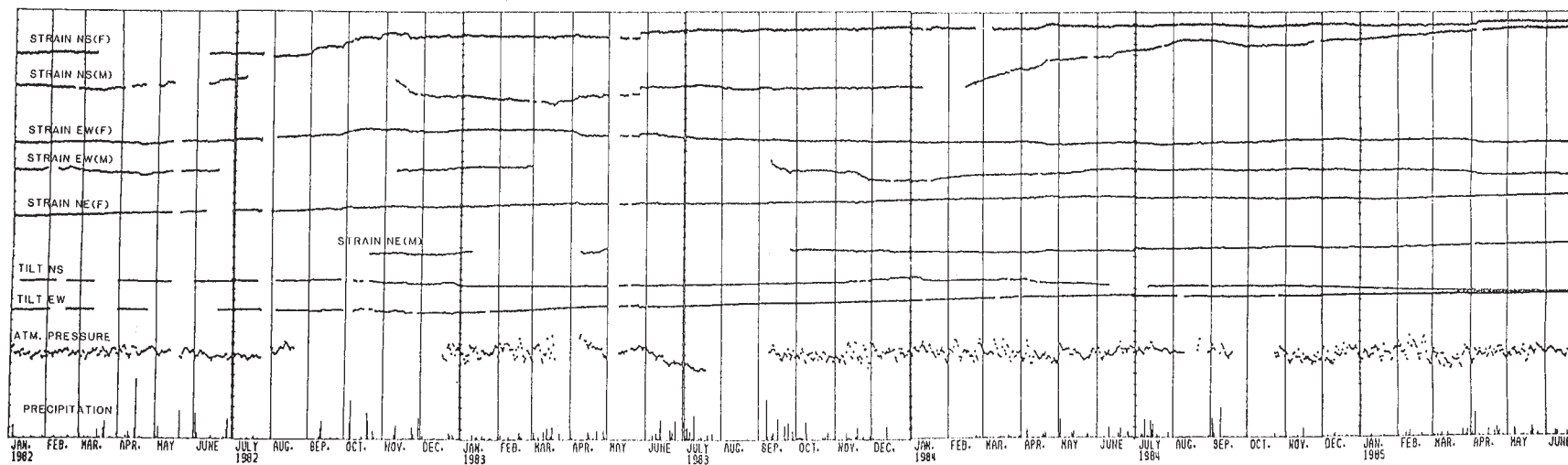
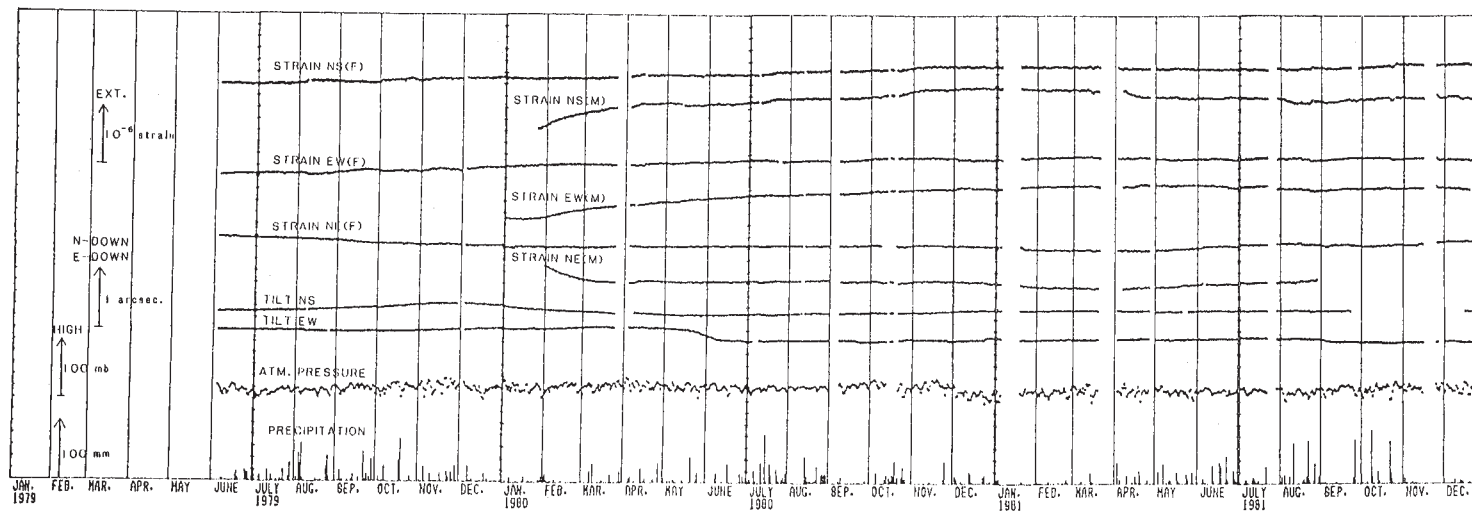
緯度観測所

International Latitude Observatory of Mizusawa

前報（第34巻）に引き続き江刺地球潮汐観測施設における歪，傾斜の観測結果を報告する。

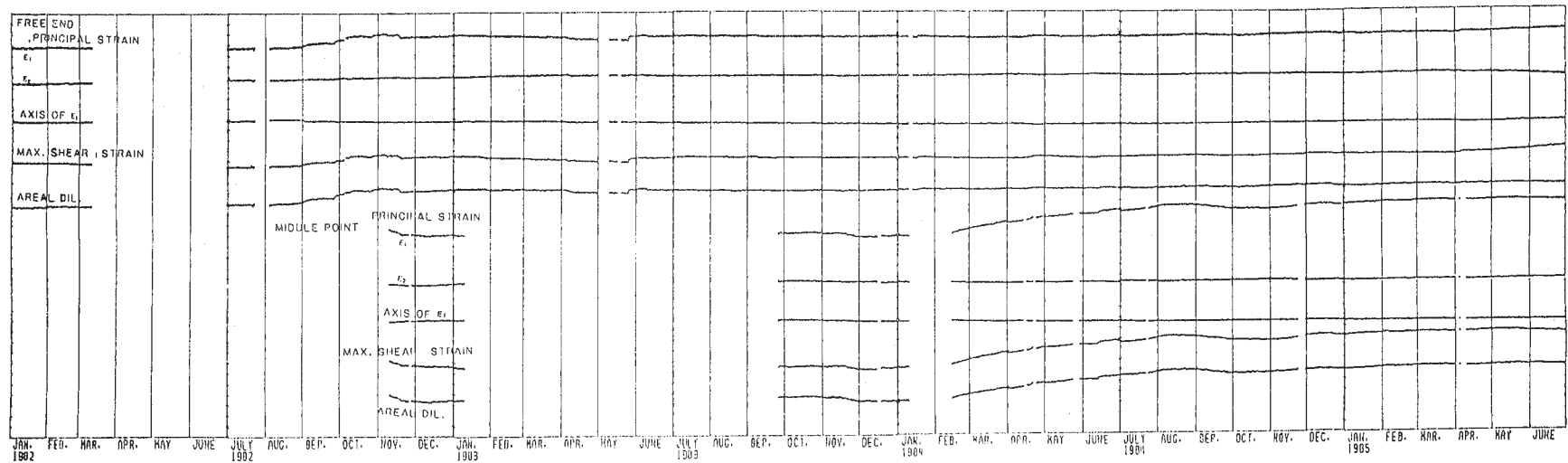
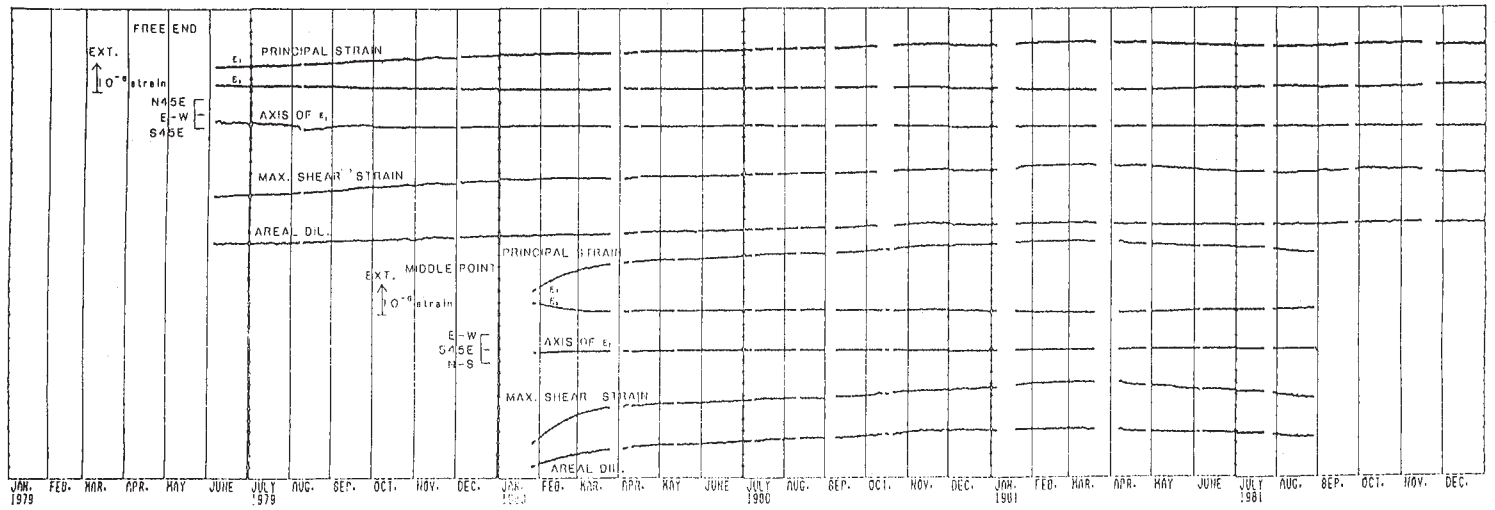
第1図は観測開始の1979年6月から1985年6月までの歪，傾斜の経年変化，気圧，降水量の変化を示しており，第2図には上から求めた主歪，最大剪断歪および面積歪を示してある。歪観測における（F）は全区間，（M）は中間点を示すものである。1984年2月中旬より9月末までの歪のNS(M)成分の乱れは前回に報告した通り器械的なドリフトによるものであった。

第3図には傾斜ベクトルを示す。1984年1月頃より，南南東下がり傾斜方向を転じ，同年6月より略一様な傾斜を示しており，その速度は $0.12''/y$ である。



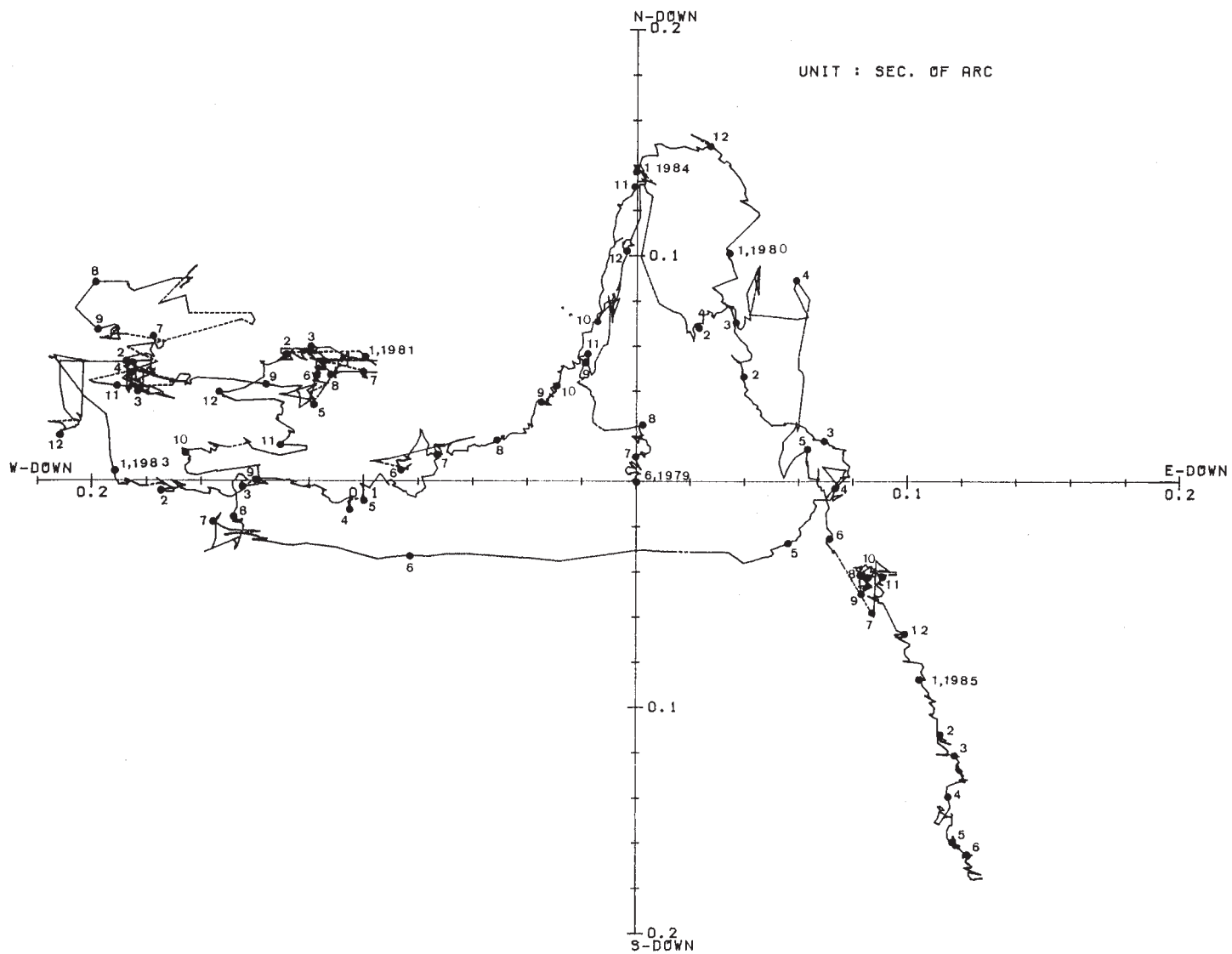
第 1 図 江刺地球潮汐観測施設における地盤の歪及び傾斜の日平均値

Fig. 1 Daily mean values of ground strains and tilts observed at the Esashi Earth Tides Station.



第 2 図 主歪, 最大剪断歪及び面積歪

Fig. 2 Derived principal strain, maximum shear strain and areal dilatation.



第3図 地盤傾斜ベクトル図

Fig. 3 Vector diagram of ground tilts.